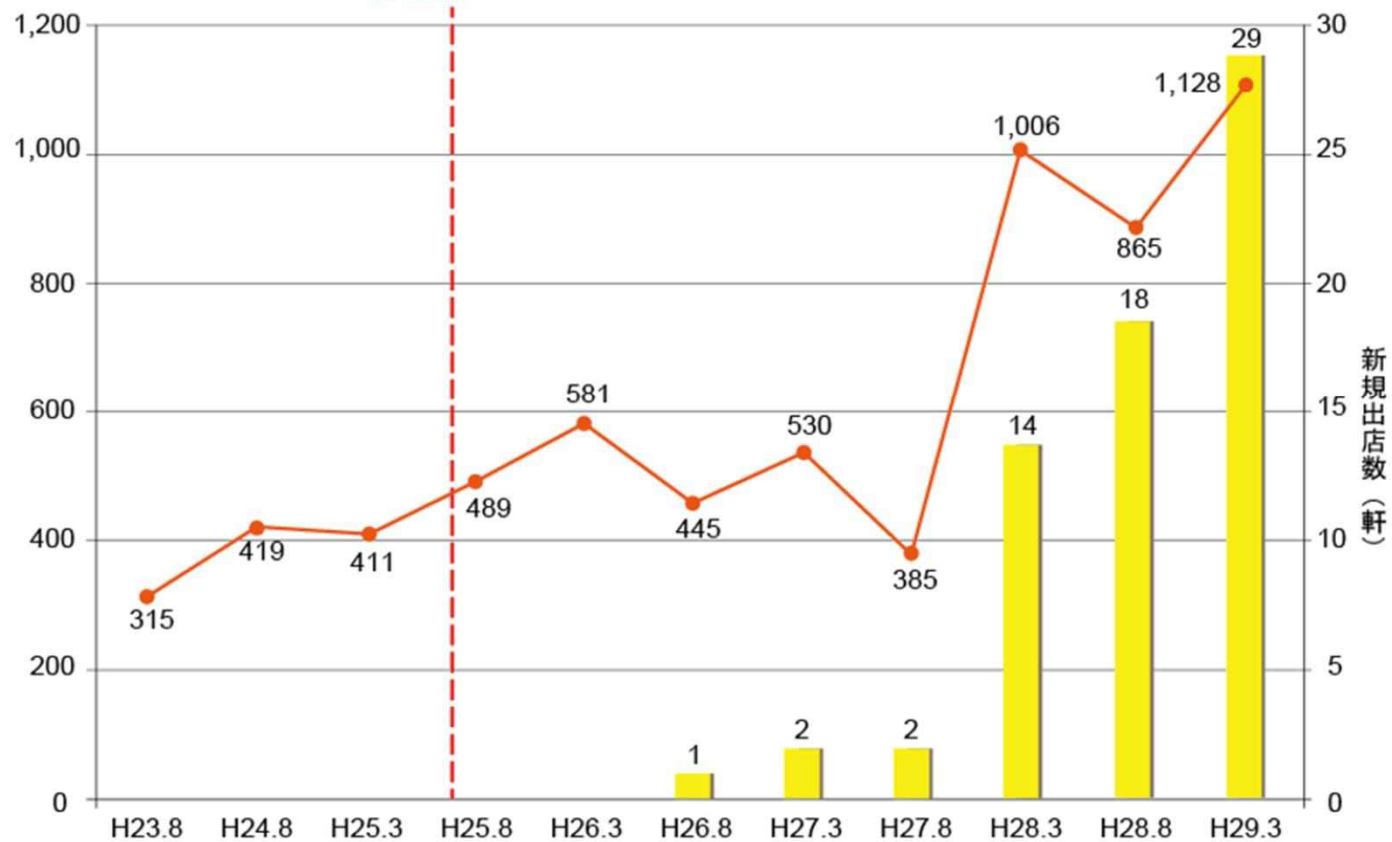


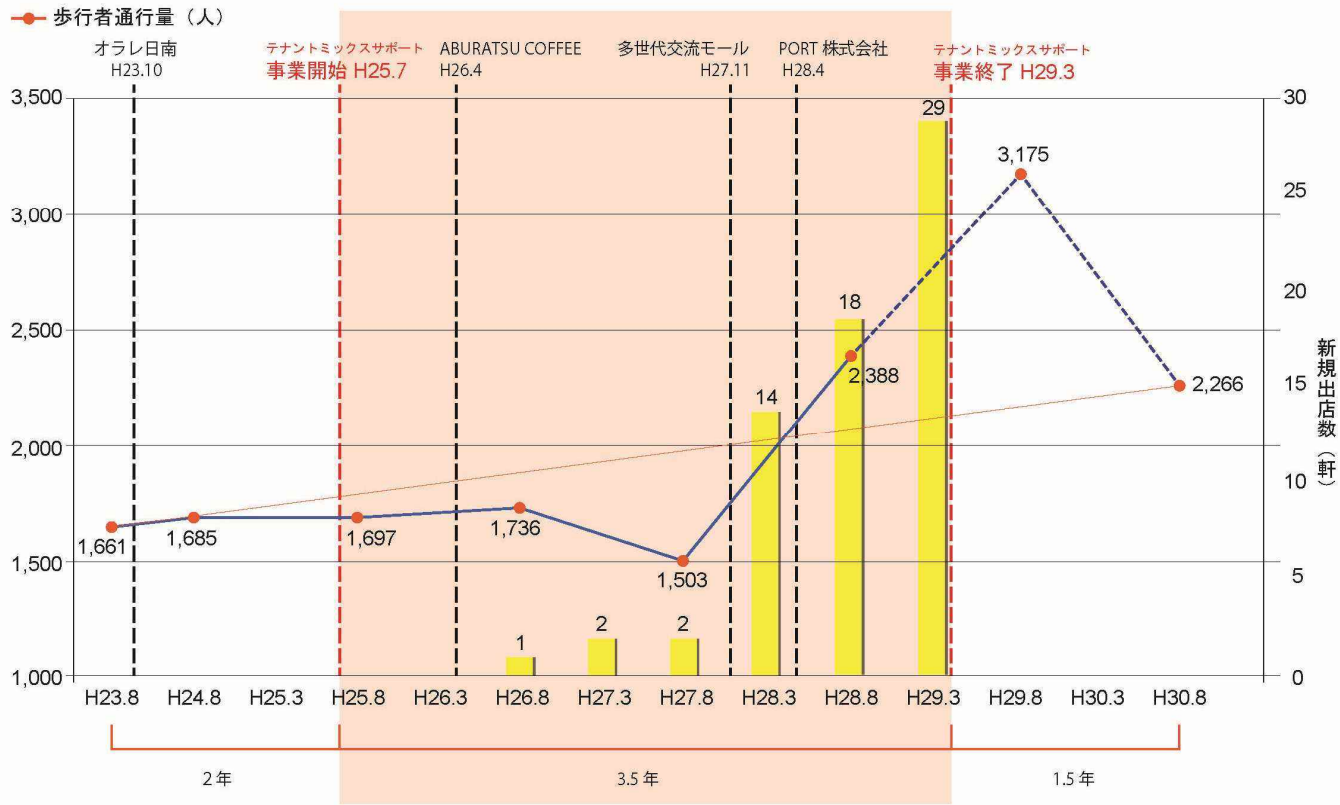
でも油津商店街
が本当にすごいところ



歩行者通行量 (人)

事業開始 H25.7





株式会社油津応援団

ABURATSU RENOVATION

油津

行政の事業が一段落
した時点で会社の存在
意義が増しています



弊社には商店街組合員は一人も参画していません。

商店街に新しい風を吹き込み、新しい価値観をつくるためにつくった組織だからです。

カフェの売上げ+12店のテナント料+レンタルスペースの利用料+年間100件の視察費

47名×1,700万円の市民の応援の声/年間4,000~5,000万円の売上

12名の雇用/これまで4年で、4名の建築家、デザイナー、飲食店経営者を排出

立ち上げ期：40~60代→中活・再生PJ期：30~40代→維持・継続期：20代

人材の育成・排出を繰り返しつつ「自走できる商店街に仕立てるために活動を続ける。」

市民出資 (47名1700万円)
銀行融資
クラウドファンディング



株式会社
油津応援団



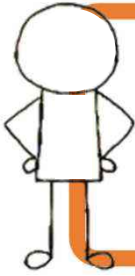
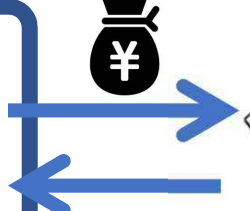
収益事業
カフェ
家賃収入
レンタルS
視察費



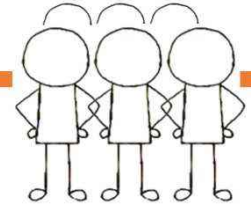
委託事業費 / 月90万円



日南市



商店街・まち



MISSION
地権者交渉
テナントミックス
デザイン
情報発信
企業誘致
飲み会

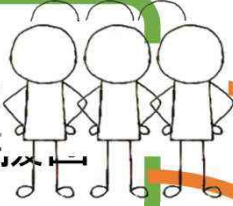
+ 地域人材育成 / Iターン・Uターン



市民出資 (47名1700万円)
銀行融資
クラウドファンディング



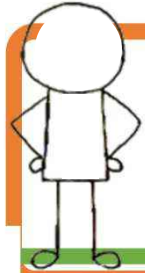
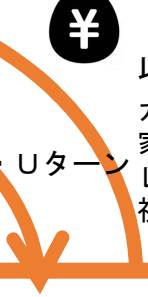
株式会社
油津応



+ 地域人材育成 / Iターン・Uターン



収益事業
カフェ
家賃収入
レンタルS
視察費



商店街・まち



日南市

MISSION

- 地権者交渉
- テナントミックス
- デザイン
- 情報発信
- 企業誘致
- 飲み会





よそ者

宮崎市
飲食店事業家
九州パンケーキ
★初代社長

38→43歳

30万

30万

木藤亮太

村岡浩司

立ち上げメンバー 2014年3月

60→65歳



地元

30万

黒田泰裕

日南市
商工会議所OB
地元の顔
シンガーソングライター
★現在社長

CONCEPT

「応援」に
責任を
持たせよう

人材の循環

よそ者から地元主体へ

株式会社油津応援団
ABURATSU RENOVATION

地元主体のサイクルへ

MISSION

各店舗のサポート
商店街組合との対話
様々な企画・実施

収益構造 決算4期目

カフェの売上げ
12店のテナント料
レンタルスペースの利用料
年間100件の視察費
他地域のコンサルティング

“つくる”から“つづける”フェーズへ

ABURATSU COFFEE チーム



女性を中心に常時4~5名



地元出身者による役員構成（6名）

地元中心へ 2015年5月より



30万

×47名の市民出資=約1,700万円

コミュニティマネージャー

30歳



黒田駿平

東京より
Uターン

コミュニティマネージャー

27歳

杉本恭佑

東京より
1ターン
地域おこし協力隊



建築デザイン 会計管理

東京より
Uターン

31→36歳

独立

鬼束準三

32→37歳

鈴木美貴子

元農協職員

商店街の
対話担当

現在
マネジャー

33→38歳

加藤伝



4月以降3つのお店がオープン



無人古書店
ほん、と
昨日オープン

楽天6年連続
ショップスオスザイヤー
油津とコラボ



 木藤 亮太さんは佐別当 隆志さん、桜井 里子さんと油津商店街にいます。
7月27日 20:44 · 宮崎県 日南市 · 🌐 ▼

【やったー！】
僕が6年間かけてもピクともしなかった油津商店街の2つの通りを繋ぐ角のシャッターがついに、ついに開いた！
マジ泣きそうです。

ADDress日南拠点、明日オープニングセレモニー。13時からトークイベント。ぜひ覗きに来てください。... もっと見る



アドレス 日南 🔍 ←

全国「住み放題」サービス「アドレス」日南拠点については
こちらから。



事業がはじまっつて6年
木藤がいなくなっつて2年
なのにまだ動いている



木藤亮太 Ryota KITO

1975年 (昭和50年) 生まれ 44歳

安徳の豆腐屋 (高木) の孫
子供の頃は転勤族
第3分団5部 (当時) にわずかながら参加
小倉西高→九州芸工大 (修士まで)

1999年

●**大学院修了**

●**福岡市内の会社員**

九州内各地のまちづくりのお手伝い
那珂川町から通勤

2013年

●**宮崎県日南市 / 油津商店街**

テナントミックスサポートマネージャー
株式会社油津応援団 専務取締役

2017年

●**那珂川市**

事業間連携専門官
株式会社ホーホウ 代表取締役

●**その他** 田川市,福岡市,
宇城市 And more..

2019年

木藤亮太 🔍

**一緒に写っているのは
90歳のおばあちゃんですw**



記事が色々あるので
ぜひ検索して読んで
みてください。

いま何をやってる？

宮崎・油津で学んだことを
ふるさとで、どう活かすか



自分のふるさと
那珂川市を見つめてみる



2つの顔を持つ



日南市との委託契約

商店街再生マネージャー

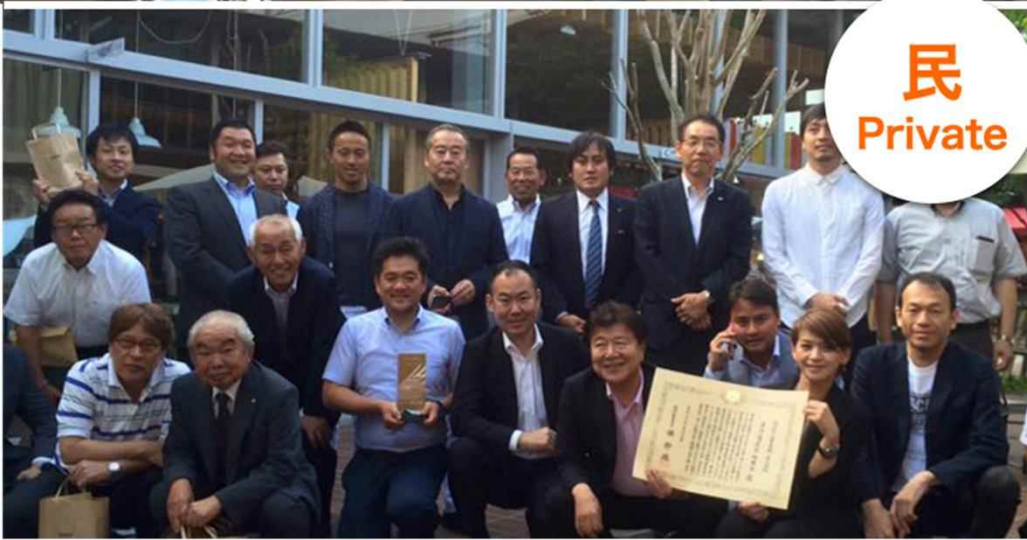
公
Public



民間資本により立ち上げ

株式会社油津応援団
専務取締役

民
Private



2つの顔を持つ



那珂川市との委託契約

まち活UPコーディネーター

民間資本により立ち上げ

株式会社ホーホウ
代表取締役

公
Public



民
Private



出生数

死亡数

自分のまちで働いている

ヨソのまちで働いている

ヨソから働きにきている人

那珂川市

486人

356人

8,066人

14,018人

6,948人

日南市

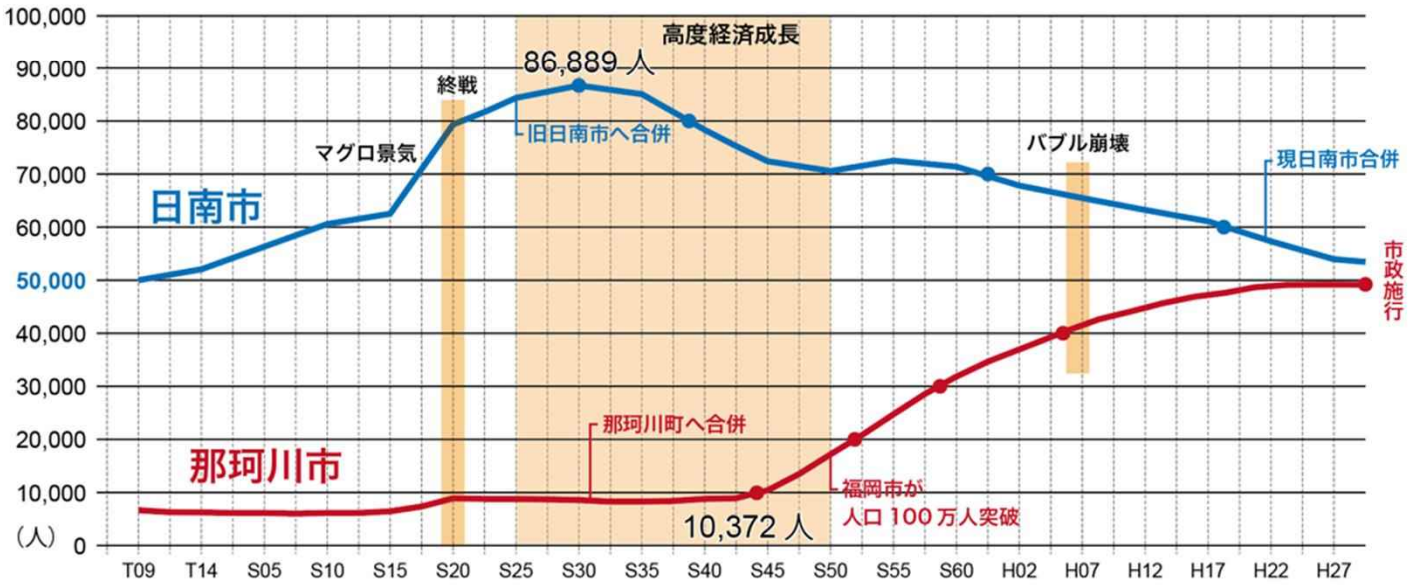
406人

828人

23,440人

2,082人

1,884人



住むまち



暮らすまち

ほんの少しでも経済活動に寄与する
生活スタイルが広がっていくこと

藻谷浩介氏いわく 地域の中での消費を
5%アップ→**150人**の雇用が生まれる

日南市と那珂川市
を比較することで
見えてくるもの



駅前ビルを再生しよう！

車両基地+駅！
博多駅から8分300円
15,000人が乗降する ちょー便利な駅



4階
博多南ナチュラル
ビアガーデン



2階
カフェるるん



3階
博多南しごと荘



こととば那珂川
バスセンターがある1階

博多南駅前ビルを拠点とした活動「こととば那珂川」については
こちらから。 ←

こととば那珂川 🔍



地元の若者をつないでいき
まちづくりを「おもしろい仕事」にしていく



那珂川市に
いい風が吹いている！

「まち活UPなかがわ」は、那珂川市に「いい風」を吹かせるために、市民の力を集めて、まちを元気にする活動です。その活動の中心となるのが、「私なんの 一歩 見つけた」です。

「私なんの 一歩 見つけた」は、市民一人ひとりが、自分自身の力で、まちを元気にする活動です。その活動の中心となるのが、「私なんの 一歩 見つけた」です。

活動あるまちづくり促進事業
まち活UPなかがわ

やってみようと思ったらまずは一歩。

相談してみる

まち活UPなかがわ

1 ヒアリングシートを導入する
シートは、皆さんの活動の計画や内容を記入するためのツールです。無料でダウンロードして活用いただけます。

2 ヒアリングシートを提出する
記入したヒアリングシートをメールの添付、または郵送でお送りください。

3 高次の日程を確定する
いただいたヒアリングシートを基に、必要に応じて追加の調査や打ち合わせを行います。

まち活UPなかがわ

これからの那珂川市を自分たちのチカラでついでいく

「まち活UPなかがわ」は、市民の力を集めて、まちを元気にする活動です。その活動の中心となるのが、「私なんの 一歩 見つけた」です。

「まち活UPなかがわ」は、市民一人ひとりが、自分自身の力で、まちを元気にする活動です。その活動の中心となるのが、「私なんの 一歩 見つけた」です。

まち活UPなかがわ



まち活UP
なかがわ



まちの活力
アップ事業

まち活UP
なかがわ

木藤を自由に使える事業

まずは自分が何をやりたいかを
宣言する**チャレンジ宣言**

昨年9月正式スタート（約5ヶ月）

30の相談

4つのチャレンジ宣言

イベントの企画や
小さな**アイデア**の実現サポート！

まち活UP
なかがわ



thank you so much!
welcome to 2020
erikopolitan

ベッドタウンでも
まちを想う市民はいるんです



ママ世代のやりたいことをママたちで
マーケティングしてみたい！

まち活UP
なかがわ

那珂川市初の**SDGs**体験イベント
は市民が発意・動いて実現

まち活UP
なかがわ



マママーケティング座談会



皿洗いしか
できませんけどw



最近は**木藤**さんには
どこに行ったら会えるの？



喫茶

キャブデン





喫茶

キャブテン





この2つの喫茶店は
似ているようで
全く違います





**発展しているまちだからこそ
見えてくる問題点もあります**





そのまちにとって
何が必要かをしっかりと
見据えたコンセプトが必要



新しいものをつくるのではなく
今まであったものをそのまま**継承**する





木藤 亮太さんはキャプテンにいます。

2019年12月30日 12:51 · 春日市 · 🌐 ▼

【まちを幸せにするためのインターフェイス】

昨日はキャプテン年内最後の営業、たくさんの方にお越しいただき感謝感謝！

店内で私がお皿を洗っていると、驚くかたもチラホラ。

経営者だし、他にもいくつかのプロジェクトに関わるキトゥが、時間の隙を見つけてキャプテンのカウンターに入ってお皿を洗う理由（わけ）。

それは簡単。

例えば、

★キトゥがカウンターでお皿を洗う。

↓ 店長、料理長に少しだけ余裕が生まれる。

↓ 店長、料理長の笑顔が増える。

↓ カウンター越しのお客さまとの会話が弾む。

↓ お客さまがより笑顔になる。

↓ 笑顔のお客さまがまちを歩く。

★まちが幸せになる。

ほら。

カウンターでお皿を洗うこと、

これ、僕にとって“まちを幸せにする”ためのインターフェイス。



喫茶キャプテン KBC



「喫茶キャプテンの事業承継」についての動画をこちらからご覧ください。





captain_nakagawa 3時間

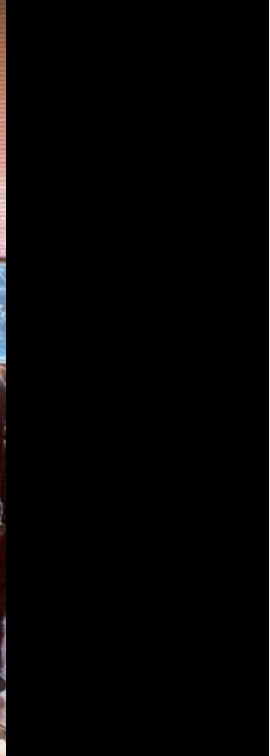


28日
29日限定の
週替わりランチやってます

明日は、デザートプレート食べるよ。

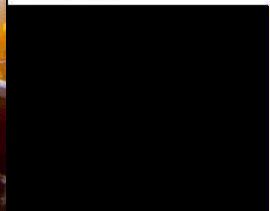
メッセージを送信

キャプテン



@captain_nakagawa

Instagram
ぜひ登録を！



株式会社

バトンタッチ

店長＝元看護師



コミュニティナーズ
的な関係性

株式会社

バトンタッチ



ぜひインスタを
フォローしてね



@captain_nakagawa



商店街の再生って本当に
難しいんです、でも・・・





商店街の再生って本当に
難しいんです、でも・・・



商店街の再生って本当に
難しいんです、でも・・・



私が好きな街 元気になって」

お披露目会で穂田南海さんは支えてくれた人たちへの感謝を口にした

商店街に傘咲いた

日南・アンブレラスカイ始まる

カラフルな傘を頭上につるして街を彩る「アンブレラスカイ」が13日、日南市の油津商店街で始まった。地元出身の女子高専生が企画し、インターネットで資金を集めて実現させた。約240本のビニール傘が60段にわたって並ぶ。お披露目会は写真を撮る人たちにぎわった。



秋晴れになったこの日、商店街では太陽がカラフルなビニール傘に透け、地面に万華鏡のような影を落とすようにしていた。お披露目会ではイベントを企画した都城工業高等専門学校1年の穂田

南海さん(16)が「思い描いたものが現実になり感動しています。いろんな方の支援でかたちにできました」と感謝を述べた。

や考えつかん。一年中やっちょってもらいたいくらい」と喜んでた。アンブレラスカイはボルトガルが発祥で、街の芸術祭でアートと熱中症対策を兼ねるものとして生まれた

とされる。世界中から観光客が訪れるほど人気で、日本でもテーマパークのハウステンボス(長崎県)やホテルで企画されている。日南市出身の穂田さんは中学時代から油津商店街の町おこし行事の手伝いを続け、台風や老朽化で屋根がなくなったアーケード街をアンブレラスカイで盛り上げようと企画。インターネットで資金を募るクラウドファンディングで約1000万円を集めた。

穂田さんは「これを機に油津に来てもらい、私が好きな街が少しでも元気になってほしい」と話している。

11月4日まで、27日から最終日までは夜間ライトアップを予定している。

(小出大貴)



お披露目会には地元の家族連れも訪れ、にぎわった。いずみも日南市





集まっている金額

1,035,000円 (目標 600,000円)

172%

達成率 支援者数 残り

172% 105人 終了しました

同じエリアのプロジェクトを見る

このプロジェクトは成立しました！

本プロジェクトは2018年10月11日、合計1,035,000円の支援を集め成立しました。

このプロジェクトは、All-or-Nothing方式です。

目標金額を達成した場合にのみ、プロジェクトの終了時点で集まった金額が提案者に支払われます。

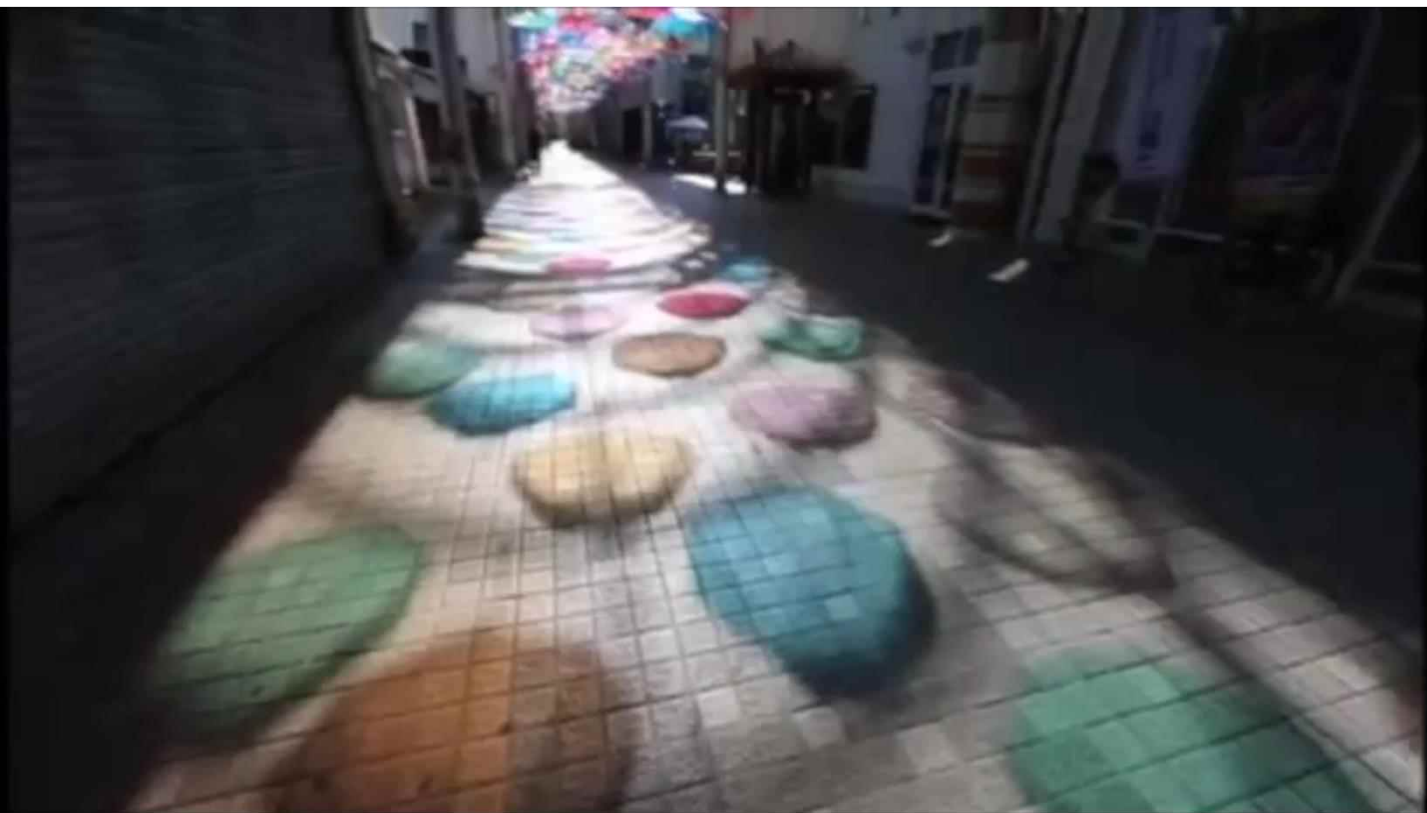
彼女の思いが伝わって
プロジェクトの応援団が
たくさん生まれました



私を育ててくれた油津商店街に恩返しがしたい。

中学2年生だった私は、色々なことに**思い悩み**、毎日**憂鬱**な気持ちでした。

そんなとき！！学校の**探究活動**をきっかけに油津商店街が盛り上がっていることを知り、足を運ぶようになります。商店街の方々は、そんな私をあたたかく迎えてくださり、色々なお話を聞かせてくださいました。こうしていく中で、油津商店街に関わる方々の**熱意に惹かれて**いきました。私の想いを発表する機会をいただいたり、学校でも情報発信をしたりするようになり、周りの人からは、「**表情が明るくなったね。**」と言われるようになりました。このように、悩みを抱えていた私に新たな居場所をくれ、成長させてくれた油津商店街への**恩返し**として、アンブレラスカイをしたいと思いました。





アンブレラ油津 🔍

←
アンブレラスカイプロジェクトについての動画は
こちらから。



まちの活性化は「お店ができること?」「人通り増えること?」

「一人ひとりが課題意識を持って考え、動くこと」が
継続的に起こりえるまちになること

- ★ ABURATSU COFFEEを立ち上げるために村岡さんや黒田さんが動いた
- ★ 豆腐店をつくるために湯浅さんを中心に加藤くんや準三くんが実践した
- ★ ABURATSU GARDEN・あふらつ食堂・fan!の奥田くんが新しい商売に挑戦した
- ★ 田鹿くんをきっかけに多くの企業が油津にきた
- ★ 日登美さんが(いい意味で)バカになってカーブ女子として盛り上がっている
- ★ Maki先生やポニート・ポニートたちが日南を盛り上げようと踊っている
- ★ 高校生との夜市は5年目を迎え今はYottenの香織ちゃんが頑張っていて運営している
- ★ 本田くんは油津で影響を受けて飴肥でお店を立ち上げ
- ★ 準三くんは自分のデザイン事務所を立ち上げ
- ★ 黒田駿平くんはUターンして地元を盛上げる活動をはじめて

こうやってチャレンジの連鎖そして応援の連鎖が
起き続けていることが、油津商店街の魅力。

実は私が何をしているわけでもなく、
私はみんながチャレンジしやすい状況をつくり、
チャレンジを後押ししているだけ。

油津がやってきたことは
小さなことの積み重ねです

